

### 5-1-5 岩石地化学探査

表土下の地質および元素分布を把握して深部探鉱地点を選定するために第2年次に Zalturbulak地区で50孔、Akmola地区で70孔の短尺ボーリング調査を実施した。

#### (1) 調査・解析方法

10mV/V以上のIP異常が広がる地区を主対象として40.0m間隔のグリッドを設定した。短尺ボーリングにより得られたコア試料および地表から採取した岩石試料は32元素の分析に付された。分析結果は濃度分布図として示し、有望地区抽出の基礎資料とした。分析試料は短尺ボーリングでは原則としてコア長1mの半割り試料を用い、地表試料ではこのコア試料とほぼ同量の岩石試料を採取した。短尺ボーリングでは、岩盤からの分析試料は原則として1孔当たり1個であるが、岩盤試料に複数の分析値がある場合、特に理由がない限り金品位の高い方を、また金品位に差がない場合は銅濃度の高い方をその地点の分析値とした。

#### (2) 解析結果

##### (a) 元素の分布パターン

分析結果をAppendix 10に示す。各元素の基本統計量は下表の通りである。

**Table 5-3 Basic statistics**

Element	Max.(ppm)	Min.(ppm)	Mean(ppm)	Standard deviation(ppm)
Au	0.62	<0.01	0.017	0.037
As	224	<3	2.35	2.45
Cu	4,150	8	74	217
Mo	68	<1	1.7	7.1
Pb	634	<2	8.5	31.5
Zn	609	<2	44.3	79.6
Ag	1.8	<0.2	0.15	0.18

以下に各元素の分布の特徴について記載する。

##### (i) 金 (Figure 5-12)

比較的高品位の試料は地区北東部のオールドビス系分布域とKaramendin貫入岩コンプレックスとの境界部に集中して得られた。この付近における高品位部はNW系とNE系の分布パターンを示し、その会合部(UTM55710.00N,46920.0E付近)が最高濃度分布域となっている。短尺ボーリングの最高品位(0.53g/t Au)および地表試料の最高品位(0.62 g/t Au)は、いずれのこの会合部付近から採取したものである。この金高濃度の分布パターンは、閃緑斑岩の分布パターン、断層系の走向と一致することから、金の鉱化作用がそれらの構造支配を受けていることを示すと考えられる。

(ii) 砒素 (Figure 5-12)

全体として低濃度を示し、試料の約75%が検出限界(3ppm)下の濃度を示した。全体の濃度分布パターンは地区の南東部が高く、北西部でほとんどが検出限界下というパターンを示した。

(iii) 銅(Figure 5-13)

NW-SE方向に伸張する顕著な高濃度域が地区の南西部に認められる。この高濃度域から北東方向に向かい散点した高濃度点が配列し、金の高濃度域に重なる。この銅の高濃度域の分布パターンは金高濃度域の分布パターンと同様の傾向を示し、構造支配を受けているものと考えられる。

地区北東部のAktau 西部の閃緑斑岩岩体北端部では金と類似した傾向を示す明瞭な高濃度域が把握された。

(iv) モリブデン(Figure 5-13)

全体の分布パターンは銅に類似し、地区の西部にNW-SEに伸張する高濃度分布域が銅の高濃度域と重複して認められる。この異常域中の破棄されたボーリング(C-25)コアには輝水鉛鉱が鉱染しているものがあり、0.19%・Moを示した。このほか地区の北東隅部にも銅、金の高濃度分布域と一致した部分にモリブデン高濃度域が認められる。

(v) 鉛(Figure 5-14)

地区の西隅部に高濃度域が集中する。高濃度域は全体としてNNE-SSW方向に伸張しMZB-14付近からENE方向にも高濃度域が伸びる。高濃度域は銅・モリブデンと一部重複するが、全体としては銅・モリブデンのそれらの西側にシフトした位置に分布する。

(vi) 亜鉛(Figure 5-14)

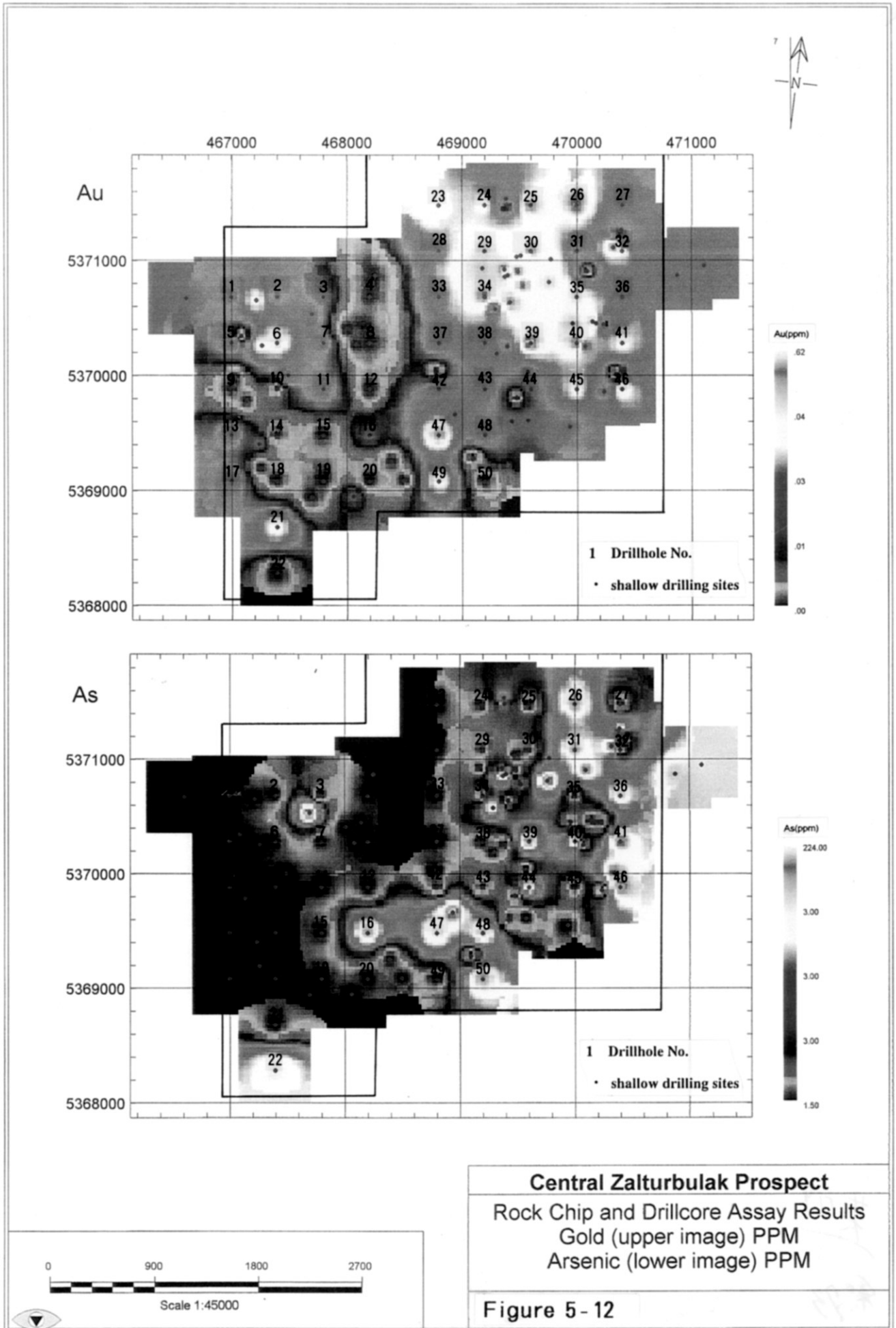
全体の傾向は鉛とほぼ同じであるが、地区の東端部に南北に伸びる高濃度域がある。

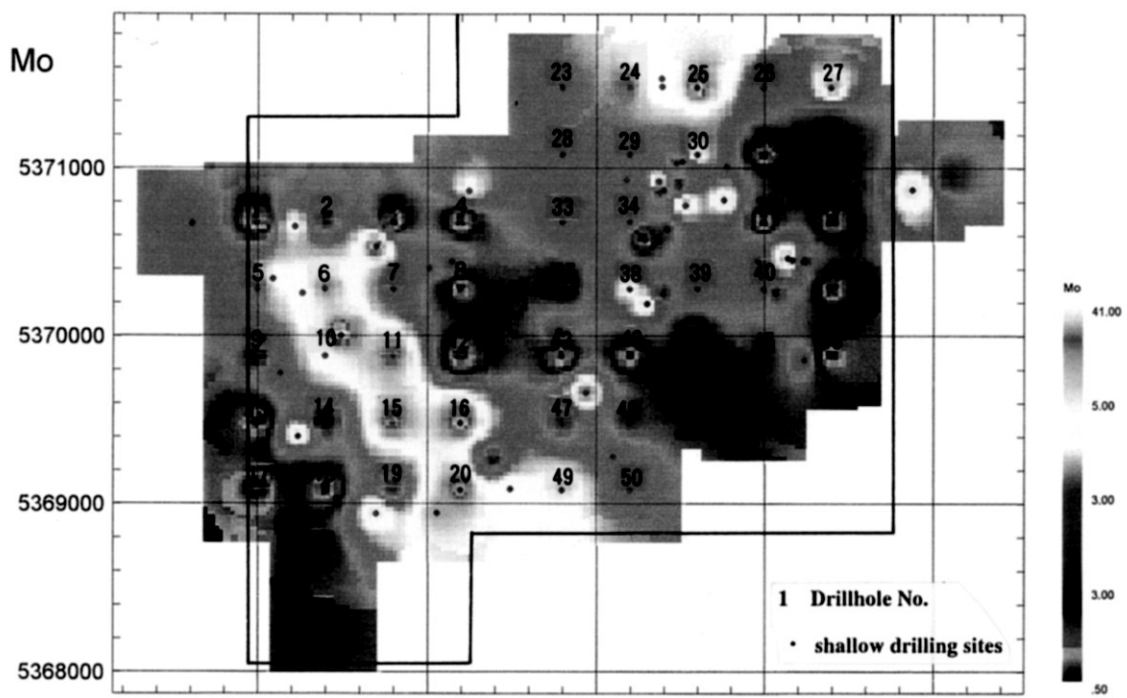
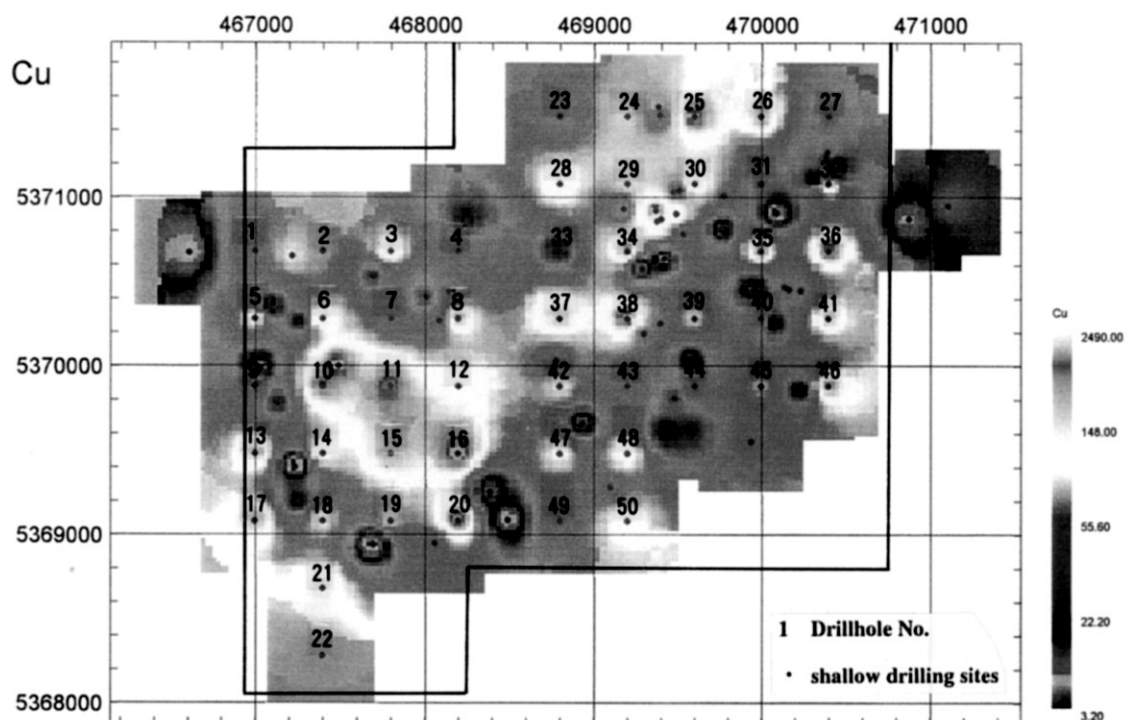
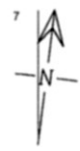
(vii)バリウム(Figure 5-15)

地区の中央部にNNW-SSW方向に高濃度域が分布する。また地区の東端部にも高濃度域がある。地区の東端部の高濃度域は、砒素と類似しているが、全体の高濃度分布域の分布パターンはどの元素とも似ていない。

(viii) 銀 (Figure 5-15)

地区西部の中央部にまとまった高濃度域があるほか、地区の東部中央部にも弱い高濃度域がある。西側のものは銅の高濃度域と一部重複し、中心部がやや北側にシフトした位置にある。地区東部中央部の弱い高濃度域は金の高濃度域と一致する。





Scale 1:45000



**Central Zalturbulak Prospect**  
Rock Chip and Drillcore Assay Results  
Copper (upper image) PPM  
Molybdenum (lower image) PPM

**Figure 5-13**

